資料５

日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

SDGs推進に向けた施策の実施状況等について

平成30年10月17日
SDGs推進室

10/4は証券投資の日

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会

SDGsで掲げられている社会的な課題に積極的に取り組んでいくため、本協会会長の諮問機関として『証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会』を設置（平成29年9月19日）

証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会
座長：日本証券業協会会長　/　構成：有識者及び協会員

貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会

証券業を通じて社会的課題解決に貢献するため、インパクト・インベストメント関連の金融商品の組成・販売の促進に向けた具体的方策等について検討・対応する。

◆具体的施策（第4回懇談会で報告）
- 証券会社役職員向けの普及・啓発資料の作成
- グリーンボンドセミナーの開催

働き方改革そして女性活躍支援分科会

証券業界における働き方改革や女性活躍の推進を図るため、業界横断的な方策について検討・対応する。

◆具体的施策（第4回懇談会で報告）
- 女性職員のネットワーク構築
- 会員代表者・管理職向けセミナーの実施
- ベストプラクティス集の作成

社会的弱者への教育支援に関する分科会

経済的に厳しい状況でも子供達が将来に希望を持って成長できるよう、証券業界として支援できる方策について検討・対応する。

◆具体的施策（第3回懇談会で報告）
- 古本募金の実施
- 会員代表者向けセミナーの実施
- NPOと証券会社のプラットフォームの構築

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1.「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

「ＳＤＧｓに貢献する金融商品に関するワーキング・グループ」の設置について

平成３０年９月
日本証券業協会

１．設置の目的

平成29年９月、本協会では、国際連合が定めた「持続可能な開発目標」（SDGs）で掲げられている社会的な課題に証券業界として積極的に取り組んでいくため、「証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会」を設置した。また、証券業界において、いわゆるインパクト・インベストメント（ワクチン債、ウォーターボンド、グリーンボンド等の組成・販売など）、ESG投資など、既に行われている取組みがSDGsの目標に照らし、貢献している分野を調査、整理するとともに、さらに貢献できる可能性について検討するため、同懇談会の下部機関として「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」（以下、「分科会」という）が設置された。

分科会においては、SDGs達成のために求められる民間資金の導入に向けて、証券業界が本業とする資金過不足の調整機能の発揮が期待されるなか、グリーンボンド、ソーシャルボンド等のSDGsに貢献する金融商品について、定義や呼称の整理、会員役職員及び投資家の理解度・認知度向上に向けた施策が重要とされた。これを受け、証券業界としての取組みについて実務に即して検討を進めていくため、標記ワーキング・グループを設置する。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－1　役職員向け「SDGsに貢献する金融商品に関する手引き」（仮）「SDGsに貢献する金融商品に関するWG」（設置要綱２／２）

２．検討事項

（1）本ワーキング・グループは、当面、次の事項について検討を行う

① SDGsに貢献する金融商品の定義等

② 会員証券会社の役職員への普及・啓発や、投資家の認知度の向上に向けた施策

（2）その他、必要に応じて、SDGsに貢献する金融商品の普及、推進に向けた課題について検討を行う。

３．ワーキング・グループの構成

（1）本ワーキング・グループに主査を置く。

（2）本ワーキング・グループのメンバーは、会員の実務に精通した役職員から選任する。

（3）本ワーキング・グループには、必要に応じオブザーバーを置くことができる。

（4）本ワーキング・グループの主査は、必要に応じ、関係者に出席を求めることができる。

（5）本ワーキング・グループのメンバーは、必要に応じ、所属会社の役職員を陪席又は代理出席させることができる。

４．運営

本ワーキング・グループの検討状況等については、適宜、分科会に報告を行う。

５．事務の所管

本ワーキング・グループの庶務は、本協会SDGs推進室が担当する。

以　上

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－1　役職員向け「SDGsに貢献する金融商品に関する手引き」（仮）
「SDGsに貢献する金融商品に関するWG」　（委員名簿）

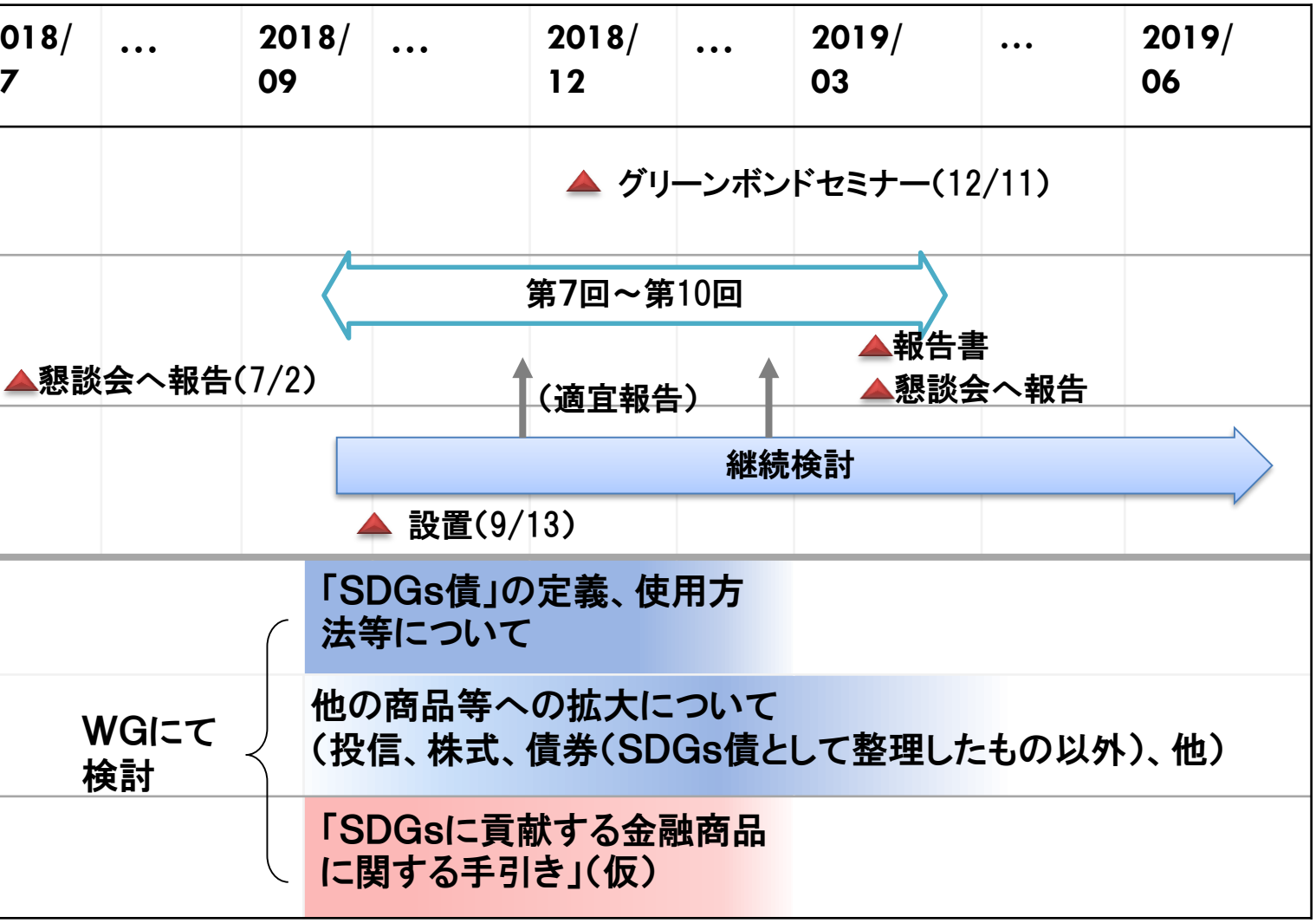
（2018年10月現在）

主　査	
徳田　　健	（ 大和証券　コーポレート・ファイナンス第二部 次長 ）
委　員	
相原　和之	（ 野村證券　デット・キャピタル・マーケット部　ESG債担当部長 ）
伊井　幸恵	（ みずほ証券　デットキャピタルマーケット第三部サステナブル・ファイナンス・デスク ヴァイスプレジデント ）
小黒　正行	（ 岡三証券　金融商品部 部長 ）
櫻本　剛弘	（ ゴールドマン・サックス証券　投資銀行部門　資本市場本部資本市場部長 マネージング・ディレクター ）
三瓶 匡尚	（ SMBC日興証券　資本市場本部 本部長補佐兼SDGsファイナンス室長 ）
實井 智宏	（ 東海東京証券　ストラクチャード営業推進部 部長 ）
酢谷　祐輔	（ メリルリンチ日本証券　資本市場部門　債券資本市場部　ディレクター ）
田村　良介	（ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券　投資銀行本部 デット・キャピタル・マーケット部 エグゼクティブ・ディレクター ）

以上9名（五十音順・敬称略）

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－1　役職員向け「SDGsに貢献する金融商品に関する手引き」（仮）
「SDGsに貢献する金融商品に関するWG」　（今後の進め方）



© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－2グリーンボンドセミナーの開催について

セミナー名	グリーンボンド及びソーシャルボンド市場の発展-アジアの展望
開催日時	2018年12月11日（火）9時30分～17時05分（予定）
会場	ホテル　ニューオータニ　鶴の間
主催	国際資本市場協会（ICMA）※
共催	日本証券業協会
後援	投資信託協会、日本取引所グループ、日本投資顧問業協会
サポーター	グリーンボンド発行促進プラットフォーム
参加費	無料
参加者	日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、 その他の関係機関、報道機関等　500～600名程度を想定

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、2008年、2013年、2015年及び2017年に日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）共催した。
また、2017年には東京でアジア域内初のグリーンボンドセミナーを共催した。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－2グリーンボンドセミナーの開催について　プログラム案(1/3)

プログラム案①（10月15日現在）

08:45	**受付、ウェルカム・コーヒー・サービス**
09:30	**歓迎・開会の挨拶** 日本証券業協会　会長　**鈴木 茂晴**
09:35	**歓迎基調講演: グローバルスタンダードの収束とアジアの基軸** 国際資本市場協会(ICMA)　チーフ・エグゼクティブ　**マーティン・シェック 氏**
09:40	**パネル 1: グリーンボンド原則/ソーシャルボンド原則―標準化の原動力そしてメインストリームへ** **プレゼンテーション・モデレーター：** 国際資本市場協会(ICMA) シニア・ディレクター, GBP事務局 **ニコラス・ファッフ 氏** **パネリスト:** JPモルガン マネージング・ディレクター　**マリリン・セシ氏** Amundi　CIO　**エリック・ブラード 氏** BNPパリバ　サステナブル・キャピタル・マーケット　ヘッド　**ステファニー・スファキアノス氏** 中倫法律事務所パートナー **ウェイ・コン氏** Moody's　（登壇者調整中）
10:30	**基調講演** 環境省 (登壇者調整中)
10:40	**コーヒー＆ネットワーキング　ブレイク**

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－2グリーンボンドセミナーの開催について　プログラム案(2/3)

プログラム案②（10月15日現在）

11:10	**パネル 2: 日本市場－成長のための仕組み** **プレゼンテーション・モデレーター：** 世界銀行　財務局　駐日代表　**有馬 良行 氏** **パネリスト:** 日本学生支援機構　登壇者調整中 （他　調整中）
12:00	**基調講演** 経済協力開発機構（OECD）　事務次長　**河野 正道 氏**
12:10	**昼食**
13:20	**基調講演: サステナブル・ファイナンスにおけるEUのリーダーシップとイノベーション** （講演者調整中）
13:30	**パネル 3: サステナビリティ：分類、重要度及び投資パフォーマンス** **プレゼンテーション・モデレーター：** 国際資本市場協会(ICMA)　ディレクター　**ピーター・ムンロ 氏** **パネリスト:** ING サステナブル・ファイナンス・ヘッド　ヘリー・チョー 氏 アーンスト・アンド・ヤング (EY)　中華圏 金融サービス マネージング・パートナー　ジャック・チャン 氏 （他　調整中）
14:20	**基調講演** 三井住友フィナンシャルグループグループCFO兼グループCSO　**太田　純 氏**

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

1－2グリーンボンドセミナーの開催について
プログラム案(3/3)

10/4は証券投資の日 JSDA

プログラム案③（10月15日現在）

14:30	**パネル 4：SDGsに貢献するグリーンボンド、ソーシャルボンド** **プレゼンテーション・モデレーター：** 国際資本市場協会(ICMA) アジア事務所代表 **ムスターク・カパシ 氏** **パネリスト:** Vigeo 中華圏＆東南アジア市場 ヘッド **ジュリエッティ・マクレシー 氏** 国際金融公社(IFC) アシスタント・トレジャラー **コウロ・カネ・ジャヌス 氏** 大和証券 グローバル・インベストメント・バンキング副担当 執行役員 **代田 英展 氏** （他 調整中）
15:20	**コーヒーブレイク**
15:50	**基調講演** 日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO **清田 瞭 氏**
16:00	**パネル 5：リーダーシップ・ディベート** **モデレーター：** メリルリンチ日本証券 取締役 副会長、日本証券業協会SDGs懇談会 委員 **林 礼子 氏** **パネリスト:** ドイツ復興金融公庫(KfW) シニア・ヴァイス・プレジデント/財務担当 **フランク・チェコフスキー 氏** 金融庁 総合政策局長 **佐々木 清隆 氏** （他 調整中）
16:50	**閉会基調講演** （登壇者調整中）
17:00	**閉会挨拶** 国際資本市場協会(ICMA) チーフ・エグゼクティブ **マーティン・シェック 氏**
17:05	**閉会**

2.「働き方改革そして女性活躍支援分科会」

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）開催概要

1）開催目的	証券業界における女性のネットワークを構築し、女性職員のキャリア意識の醸成を図る。
2）開催日時	2018年10月4日（木） 午前10時00分～午後12時30分
3）開催場所	太陽生命日本橋ビル26階会議室
4）主催	日本証券業協会
5）参加者	38社115名（会員証券会社の女性職員）
6）報道関係者	9社（日本経済新聞、時事通信、フジテレビ、Forbes、ダイヤモンド等）

7）プログラム内容	8）当日の模様
①主催者挨拶 日本証券業協会　会長　鈴木茂晴	
②来賓ご挨拶 衆議院議員　野田聖子氏 UN Women 日本事務所所長　石川雅恵氏	
③証券会社職員5名（ロールモデル）によるパネルトーク	
④参加者でグループを分けた座談会及び各グループによる発表	
⑤ネットワーキング　※軽食を用意した立食形式	

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）議論のポイント

議論のポイント

自身の意識改革

- これまでの長時間労働等の男性社会の価値観や先入観にとらわれない。
- 女性の特性をプラスに活用。
- マイノリティーであることが利点となる場面もあるため、自身の生き方に自信をもつべき。
- 一方、職場ではマイノリティーの声は届きにくい点もあるため、女性がマイノリティでなくなるために、リスクを恐れずチャレンジすべき。

周囲の意識改革

- 特に管理職以上の男性の意識改革が必要。
- 自身の経験のないことは理解しづらいため、周囲を巻き込むためには日頃のコミュニケーションが重要。

職場環境

- 制度は整備されてきたが、運用面が不十分。
- 在宅勤務や1時間毎の有給取得制度等、より柔軟な働き方が可能となる制度の導入。

セミナーに対する参加者の声

- 同業他社の取組みを聞くことができ、自社の取組みの参考になった。
- 様々なタイプのロールモデルの方の前向きなお話しで仕事へのモチベーションがアップした。今後の自身の選択肢が広がった、将来の働き方のイメージがわきやすくなった。
- ご自身の経験に基づくお話しは親近感が沸き、非常に励まされた。
- 自分自身が先入観に囚われて生きていることに気付いた。
- 自分と同じ悩みを抱えている方が多く、気持ちが楽になった。
- 後輩女性のためにも小さなことでも自分自身取組めることから取組んでいきたい。
- 是非、定期的に開催して欲しい。
- 男性にも参加してもらい、男性側の意見を伺いたい。

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）
プログラム①（主催者挨拶）

10:00 ～10:10	**主催者挨拶** **日本証券業協会　会長　鈴木茂晴**
主な内容	鈴木会長より、本セミナーの開会にあたって挨拶を行った。 主な内容は以下のとおり。 • 証券業界に働く女性職員が、今後のキャリアを考え、自らの働き方に自信を持って働いていただくためには、多様な働き方や仕事・キャリアの悩みを共有できるような機会が必要と思い、本セミナーを開催することとした。個社の垣根を超えて業界横断的にお集まりいただくセミナーは初めてではないかと思うため、是非この機会を活かして、新たな気付きや横のつながりを得てほしい。 • ここにおられる方々は、これまであらゆるハンディを乗り越えて来られた理想的な女性ばかりだと思うものの、私が、常々女性職員に対して言っていることを一言、言わせていただく。 • とにかく、女性は結婚しようが、しまいが、子供ができようが、できまいが絶対に会社をやめてはいけない、働くことをやめてはいけないと言いたい。仕事でつらい状況が続けば辞めたいと考えるだろうし、女性にはある種のハンディがあることは間違いないと思うが、何があってもへこたれず、上昇志向を持って、自分の力、能力をいっそう磨いて欲しいと思う。 • また、自分らしく生きていくために絶対に必要なのは経済的な自立であるため、今持っている経済力は絶対に失ってはいけない。この厳しい時代に自らの力で生きているということはそれだけで大変素晴らしいことである。 • 女性職員の皆さんには、本日のセミナーで得た諸先輩方のお話しや議論を糧にして、今後もご自分の能力に自信を持ち、意欲をもって働いていただきたいと思う。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）プログラム②（来賓ご挨拶（野田聖子様））

10:10 ～10:25	来賓ご挨拶 衆議院議員　野田聖子様
主な内容	野田聖子衆議院議員より、ビジネスウーマンの先輩という観点から挨拶をいただいた。 主な内容は以下のとおり。 • 女性活躍男女共同参画担当大臣を辞しているため、本日は自らの言葉にてお話をさせていただく。 • これまで様々な役職に就くことができたのは、自分の力ではなく、人との出会いがあったからと考えている。よって、結果が出ていないと感じる時があっても、それは自分の頑張りが足りないのだと思うのではなく、一旦肩の力を抜いて周りを見渡してほしい。そうして周りから得られた刺激によって自分の中を満たしていくことが、仕事を続けていくモチベーションになるのではないかと思う。 • 女性にとってのこれからの強みは、先入観と戦えることである。これまでの男性による長時間労働等が生んだ成功体験は、今の少子高齢化社会では通用しない。皆さんにはそうした成功体験を語る方に迎合しないでほしい。そのことが5年後、10年後に実を結ぶことになるだろう。 • 今はマイノリティと呼ばれる人が活かされやすい時代となり、日本としても求められているはずである。是非女性として生まれて得てきたものを信じつつ、自然体で仕事に取り組んでほしい。 • これからはヒエラルキー的ではなく、ブロックチェーン的なつながり方が求められるだろう。 本会合がそのための一助となることを期待したい。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）プログラム②（来賓ご挨拶（石川雅恵様））

10:25 ～10:40	来賓ご挨拶 UN Women 日本事務所所長　石川雅恵様
主な内容	石川雅恵UN Women 日本事務所所長より、UN Womenの活動やグローバルからみた日本の現状等について挨拶をいただいた。主な内容は以下のとおり。 • 去年のジェンダーギャップ指数によれば、144か国中の114位という先進国で最も低くなっており、特に政治分野及び経済分野における女性の参画が日本は他の国に比べて突出して低い。 • 日本事務所では、金融業界ないし証券業界とともに何かできることはないかと模索しており、鈴木会長ともお話をしていた。そしてこの度、UN Women等が作成している「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」の支持声明書に鈴木会長が日証協として署名していただいたとのことで、大変うれしく思っている。是非ここにいる方々が勤務している各社でも署名を検討していただきたい。 • また、参加者の方々にはUN Womenの活動について知っていただくとともに、女性のエンパワーメント、ジェンダー平等に対して、自分が何をできるかということを考えてほしい。私は一児の母であるが、息子と夫は海外におり、日本には単身赴任で来ている。そのことについて、あなたはなぜそんなことができるのかと何度か詰め寄られたことがあり、そうしたステレオタイプを破っていきたいと感じ、現職を引き受けた。参加者の方々にも、小さな行動で構わないので、是非始めてみてほしい。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）プログラム③（パネルトーク）1/2

10:45 ～11:15	証券会社職員5名（ロールモデル）によるパネルトーク
主な内容	証券会社女性職員5名（ロールモデル）より、これまでの経験をもとに、仕事のモットーや仕事面・生活面で工夫されている点、後輩女性職員へのメッセージ等について、パネルトークが行われた。 主な内容は以下のとおり。 ・当初は一般職として入社したが、その後総合職に転換し、当時では女性初の営業店の総務課長にも就任した。その時にはもし自分が潰れると今後の女性のポストがなくなると考え、目の前の仕事に邁進してきた。キャリアはその時その時に与えられた役割を全うする事で、振り返った時に積みあがっているものだと考えている。男性にしかできない事もあるが、女性にしかできない事、女性だから出来る事もたくさんあると思う。次に続く女性のためにも、いま私たちで共に頑張っていければと思う。 ・入社以来一貫して人事部配属だが、当社の東証上場等を機に、人材獲得といった大局的な戦略にも携わりたいと考え、自分の業務範囲を広げるために総合職に転換した。とにかくチャレンジをモットーにしており、やらないで後悔するよりはやって後悔する方を選びたいと考えている。まだ女性職員は少ないが、それは逆に自分たちの仕事がトップにも見えやすくなっているとも言える。また、私には4歳の子供がいるが、女性は出産及び育児を経てマルチタスク能力が向上するという記事もあるため、皆さんには恐れずにチャレンジしていってほしいと思う。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）プログラム③（パネルトーク）2/2

10:45～11:15	証券会社職員5名（ロールモデル）によるパネルトーク
主な内容	・現在債券部門の事業法人の営業を担当しているが、プライベートでは現在3歳の子供がおり、出産前と同じ部署で勤務しているものの、時短勤務制度を利用して午後4時には退社している。仕事では、「チャンスが来たら返事はイエス」をモットーとしている。時短勤務によってどうしてもコミュニケーションが薄くなりがちであるため、お昼の時間や廊下などで会った同僚には必ず声をかけるようにしている。これからの課題として、一時間単位で休暇が取れる制度があればさらに良いと思うものの、制度面については概ね各社で整備が進んでいる一方で、運用面では部署や上司によって対応がバラバラであるため、私や皆さんで時短勤務でも結果を出して先例を作っていければと思う。 ・入社当初は関西で営業を担当し、東京でリテール事業支援および企画部門を経て、さらに営業店で営業課長として約10年間務めた後、現在は公益法人営業部の部長を務めている。仕事では五角形（①お客様の満足、②会社の利益、③部下の成長、④自分の成長、⑤今の仕事が社会に貢献しているか）を出来るだけ大きくなるようにそしてバランスを大切にするようにしている。小学1年生の子供がいるが、現在は共働きの家庭を想定したサービスを提供する学校等もあるのでそのようなサービスを利用したり、また普段から親戚や周囲の人々と積極的に交流し、急場でも相互に助け合えるような環境を構築することを心掛けている。皆さんには、今は少数派だとしても今後は少数派ではなくなるために、チャンスがあれば前に出て行ってもらいたいと思う。 ・外資系企業を2度の転職後、現在の会社に勤めており、また15歳、13歳、11歳の子供を育てながら家計を支えている。たとえネガティブな場面であっても常にポジティブに、そして閃きとチャレンジを大事にしながら仕事をしている。子供には次の日に何が必要かなどを自己申告させるようにしており、それによって責任感が増し、忘れ物等が減るようになった。特に今後のキャリアビジョンはないが、これからは部下等の産休や介護のサポートをする側に回り、皆がステップアップしていけるように貢献できればと思う。皆さんにはこの仕事で幸せだと思える環境を探ってほしい。

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）プログラム④（参加者同士の座談会）

11:15 ～11:55	参加者でグループを分けた座談会及び各グループによる発表
主な内容	参加者を役職や職種別に数名（3～6名）のグループに分け、社会人人生で苦労した時の状況、会社の制度や自身の働き方などに関する課題を挙げ、理想の働き方やキャリアパスに近づけるための改善方法をディスカッションした。なお、ディスカッションの円滑な進行に向け、「働き方改革そして女性活躍支援分科会」委員会社の女性職員（11名）にファシリテーターとしてご協力をいただいた。 ディスカッション結果として以下のようなコメントが発表された。 ・ワークライフバランス改善のためには、まずは**自分の意識改革**が必要。自分ひとりで変えていくのが難しい場合には周囲を巻き込んでいきたい。会社の制度は整ってきたが、**制度を活用する実績が少なく**、自分たちで実績を作るよう心がけたい。（非管理職） ・上司によって認識は様々。セクハラ・パワハラなどには被害経験者として訴えていくべき。また、**管理職向けに意識改革のための研修が必要**。育児中で出社できない場合、周囲にしわ寄せが行かないよう、**在宅勤務の仕組み**など会社によるフォローがあると良い。（非管理職） ・年上の男性が部下になるとやりにくい状況があるが、彼らをうまく使っていくスキルを身につけることが大切。若い男性は女性が働くことに理解があるが、**管理職世代の男性の意識を変えることが必要**。（管理職） ・介護休業など制度があっても人は未経験のことには理解不足になりがちで、社内で協力を仰げる体制づくりが必要。（管理職） ・金融界の課題として、男女のコミュニケーションがある。女性はアシスト業務を担ってきたので、**重大な案件では信頼できないという男性の気持ち**があるのではないか。一方、男性が言うと角が立つ場面でも、女性ならソフトに言うことが出来るなど、利点もある。男性社会であることを自覚しつつ周囲に配慮しながらWIN-WINで改革していきたい。（管理職）

2－1「証券 Women's Network」（東京会場）
プログラム⑤（ネットワーキング）

12:00 ～12:30	ネットワーキング　※軽食を用意した立食形式
主な内容	参加者同士で更に交流を深めてもらうため、軽食を用意した立食形式によるネットワーキングを開催した。本ネットワーキングでは参加者のほか、パネリスト及びファシリテーターに加え、ご来賓の石川雅恵UN Women 日本事務所所長にもご参加いただいた。 また、参加者のSDGsの認知度及び理解度の向上並びに証券業界におけるSDGsの取組みの周知を図るため、本協会提供のテレビ番組「フューチャーランナーズ　～17のゴール～」の動画放映を行った。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－2「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」への署名

女性のエンパワーメント原則（Women’s Empowerment Principles、WEPs）

◆ 2010年3月に、企業のジェンダー平等と女性のエンパワーメントを経営の核に位置付けた自主的な取組みを促し、女性の経済的エンパワーメントを推進するため、国連グローバル・コンパクト（以下GCという。）※と国連女性機関（UN Women）が作成した以下の7原則。

① トップのリーダーシップによるジェンダー平等の促進
（トップの関与、全社的な目標設定、管理職の人事考課の要素等）

② 機会の均等、インクルージョン、差別の撤廃
（平等な待遇、管理職・役員への女性の登用、子どもや家族のケアへの支援等）

③ 健康、安全、暴力の撤廃
（健康に関する男女で異なる影響への考慮、職場におけるあらゆる暴力の撤廃等）

④ 教育と研修
（女性の職域拡大、教育・研修プログラムの利用しやすさ等）

⑤ 事業開発、サプライチェーン、マーケティング活動
（女性の経営者や起業家との取引の発展、取引先や同業者の関与等）

⑥ 地域におけるリーダーシップと参画
（関係者や当局・そのほかの機関との協働促進等）

⑦ 透明性、成果の測定、報告
（企業の方針及び実行計画の作成、報告書の公表等）

※持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りのための企業や団体の自主的イニシアチブ（2000年7月国連本部に発足）。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－2「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」への署名 求められる事項

（1）最高経営責任者（CEO）のWEPsに対する支持声明書への署名

◆ 最高経営責任者（CEO）が、以下に掲げられた内容を目的として、ジェンダー平等の促進を支援することを表明する支持声明書に署名のうえ、WEPs事務局に対して申請する。

- ✓ 幅広い豊富な人材を結集すること
- ✓ 企業の競争力を強化すること
- ✓ 企業責任の遂行と持続可能な開発を実現すること
- ✓ 従業員とその家族、また地域住民にとってのより良い社会を創造するために社内の規範づくりを行うこと
- ✓ 性別や年齢にとらわれず、すべての人々が能力を発揮できる、経済的・社会的基盤作りを奨励すること
- ✓ 事業を展開する国々における、持続可能な開発の促進に貢献すること

（2）ジェンダー平等推進のための目標設定や進捗状況の公表（推奨事項）

◆ ジェンダー平等推進のために特化した基準や目標を設定することや、進捗状況を公表すること及び進捗状況を報告する際にできるだけ性別データを用いること等が推奨されている。

※なお、WEPsへの署名による金銭的な義務は発生しないが、WEPs事務局への任意で以下の寄付が推奨されている。
GC加盟企業：GCへの年次寄付を通じた寄付
GC非加盟企業：大企業（売上・収益250億円超） 年間5,000米ドル
中規模企業（売上・収益50億円～250億円） 年間2,500米ドル
小規模企業（売上・収益50億円以下） 年間500米ドル

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－2「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」への署名 本協会の活動との整合性について

「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に対する支持声明書との整合性について

◆ 本協会としては、現在進めている証券業界における働き方改革及び女性活躍に向けた取組みが、以下のとおり支持声明書で掲げられている目的に沿ったものと考え、2018年10月3日付で「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に署名を行った。

① 証券業界が多様な人材を有効活用できる業界となることを目指すために推進するものであること

② 会員会社には、日本の全国各地にあるだけでなく、世界各国でも事業を展開する企業があり、また役職員を約9万人抱えている証券業界において、働き方改革及び女性活躍を推進することは、持続的な経済成長にも大きく寄与するものであると考えられること

なお、本協会自身における「戦略的な人材の育成・採用」や「職員のワークライフバランスの向上に向けた取組み」も、支持声明書で掲げられた目的に沿ったものと考えられる。

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

2－2「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」への署名
（参考）署名企業等

- 日本を含め90カ国以上で1,775社が署名。
- 日本では以下の企業を始めとする計237社が署名（2018年10月4日現在）。
  - 三井住友フィナンシャルグループ、りそなホールディングス、荘内銀行、中国銀行、トマト銀行
  - SOMPOホールディングス、日本生命保険、明治安田生命保険、第一生命ホールディングス

※会員会社については、日興アセットマネジメント1社のみ
※業界団体で署名を行っている団体の例として、「ケニア製造業協会」「ネパール SAARC Business Association of Home-Based Workers (SABAH)」がある。

「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」署名手続きの流れ

最高経営責任者（CEO）のWEPsに対する支持声明書への署名

↓

WEPs事務局のウェブサイトからオンライン申請

↓

WEPs事務局から承認の連絡

↓

WEPs署名企業として国連女性機関（UN Women）のウェブサイトに掲載

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

3.「社会的弱者への支援に関する教育支援分科会」

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

3 「こどものみらい古本募金」への参加

- 証券業界では、全ての子供達が希望を持って成長できる社会の実現に向けて、内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」（古本等を活用した寄付プログラム）に業界全体で参加。
- 10(とう)月４(し)日の「証券投資の日」より全国の証券会社に古本等回収ボックスを設置。
- 証券業界における本取組みは、松山前内閣府特命担当大臣閣議後記者会見やバリューブックスプレスリリース、各地方紙等においても紹介された。

古本等を証券会社に設置された回収ボックスへ投函

顧客、地域住民、従業員など → 全国の証券会社（参加会員：90社 参加店舗：1200超） → 提携業者 ㈱バリューブックス → 子供の未来応援基金 → NPO法人など

集まった古本等を提携業者に送付

古本等を買い取り査定額を寄付

子ども食堂や居場所づくりに取り組むNPO法人等を支援

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

3 「こどものみらい古本募金」への参加

＜取組み状況＞（９月25日 現在）

協力証券会社数：93社　回収BOX設置店舗数：1259店舗

《協力証券会社内訳》

藍澤證券、阿波証券、安藤証券、池田泉州TT証券、石動証券、いちよし証券、今村証券、岩井コスモ証券、ウェルズ・ファーゴ証券、永和証券、SMBC日興証券、SBI証券、愛媛証券、FPL証券、エンサイドットコム証券、岡三証券、岡三にいがた証券、岡地証券、岡安証券、香川証券、カネツFX証券、カブドットコム証券、木村証券、京銀証券、共和証券、極東証券、ぐんぎん証券、ごうぎん証券、光世証券、国府証券、寿証券、篠山証券、三縁証券、三京証券、三晃証券、静岡東海証券、静銀ティーエム証券、七十七証券、島大証券、上光証券、荘内証券、しん証券さかもと、大熊本証券、第四証券、大山日ノ丸証券、大万証券、大和証券、立花証券、田原証券、タワー投資顧問、東海東京証券、東岳証券、東武証券、とうほう証券、東洋証券、徳島合同証券、富岡証券、内藤証券、長野證券、西日本シティTT証券、西村証券、日産証券、野畑証券、野村證券、播陽証券、BNPパリバ証券、日の出証券、百五証券、ひろぎん証券、廣田証券、武甲証券、フジトミ、ほくほくTT証券、松阪証券、マネックス証券、丸三証券、丸近證券、丸八証券、三木証券、みずほ証券、三津井証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、水戸証券、三豊証券、むさし証券、明和證券、モルガン・スタンレーMUFG証券、山形證券、山二証券、山和証券、UBS証券、豊証券、ワイエム証券（五十音順）

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.